

米国生産者の語る作付見通し

米国の生産者は春の作付シーズンの中盤を迎えていますが、様々な地域の市況や天候が作付時期や決定に影響を及ぼしています。

アメリカ穀物協会（USGC）は、情報を共有できるよう、米国全域にわたる大麦やトウモロコシ、ソルガムの生産者に各自の2016穀物年度の作付活動や選択、計画について情報を提供してくれるよう依頼しました。対象となった生産者は市況や環境要因、過去のデータを検討したうえ、これらを世界市場に向けた高品質粗粒穀物の生産活動の指針としています。

大麦

モンタナ州 バズ・マッテリン氏

バズ・マッテリン氏はモンタナ州の三代目の農家です。マッテリン氏は1人の若者と共同作業をしながら、引退するときに備えて、100年近い歴史を持つこの農場を引き継ぐための指導を行なっています。ミズーリ川上流の氾濫原にあるこの農場ではモルト大麦やテンサイ、デュラム小麦、油糧種子を栽培しています。

1年のどの時期に作付しますか？

「大麦を4月下旬に作付し、7月下旬か8月上旬に収穫します」

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「GPSとオートステア（自動運転）です。これらにより我々はいはもっと環境に優しい生産ができるようになるからです」

今年は典型的な作付シーズンになっていますか？

「この数年、春の到来と作付シーズンの開始が1、2週間早くなっているようです」



U.S. Grains Council

Email: grains@grains.org
www.grains.org

 @usgc

 /usgrainscouncil

 /usgrainscouncil

U.S. Headquarters

20 F Street NW
Suite 600
Washington, D.C. 20001
207.789.0789 TEL
202.898.0522 FAX

アメリカ穀物協会

日本事務所

〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-2-20
第3虎の門電気ビル11階
TEL: 03-6206-1041
FAX: 03-6205-4960
EMAIL: grainsjp@gol.com

Developing
Markets.

Enabling
Trade.

Improving
Lives.

Continued on next page

作付にはどのような種類の装置を使用していますか？

「不耕起農地では空気を使って播種するエアシーダーを使っています。大きな馬力が必要ですが、それだけの価値はあります」

作付の決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「経済的な要素が大きいです。加えて、我々は厳密な輪作を守っています。大麦をテンサイの後に植えると病気を効果的に抑制できます」

今年の生育期間をこれまでと違ったものにする計画はありますか？

景気よかった年には皆が新しい装置を購入しましたが、我々はそうしませんでした。ですから、中古市場で割安のものを見つけようかと考えています」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「我々は食料が重要であることを理解しています。米国は、品質の高い農産物を入手するための信頼できるサプライヤーとしてあり続けます」

アイダホ州 ティム・ディリン氏

ティム・ディリン氏はカナダ国境に近いアイダホ州内で、100年の歴史を持つ農場を営んでいます。82歳のディリン氏の父親は今も元気に農場運営に携わっています。500エーカー（約200ヘクタール）の土地で冬小麦を、そしてほぼ同じ面積で飼料用や食用、モルト用の大麦を栽培し、レッドアンガス種の肉牛も数頭飼育しています。



左の不耕起農地には前作物の名残の刈り株や植物性の物質がみられる。右の耕起農地すなわち鋤で耕した農地では前作物に由来するあらゆる植物性物質は土壤中に鋤き込まれている。



アイダホ州にあるティム・ディリン氏の農場にある園場風景

トウモロコシ進捗報告書

米国農務省 (USDA)によれば、5月22日までに作付されたトウモロコシは86パーセントで、これは5年平均を1パーセント上回っています。この報告書に含まれている州は2015年の米国トウモロコシ全体の93パーセントを占めます。

5月22日現在、トウモロコシの作付完了率ではイリノイ州 (89パーセント)、ミズーリ州 (97パーセント) およびテネシー州 (97パーセント) がトップ3となっています。アイオワ州は同州の5年平均値を4パーセント上回り、同様にケンタッキー州 (4パーセント) およびノースダコタ州 (24パーセント) も上回っています。

テキサス州は同州の5年平均値を12パーセント下回り、同様にミシガン州 (7パーセント) およびネブラスカ州 (3パーセント) も下回っています。こうした結果は北部州の異常な低温気象に起因しています。

USDAは5月22日までに全トウモロコシの60パーセントが発芽すると予測しており、これは5年平均値を5パーセント上回ります。

イリノイ州の発芽割合は2015年の記録を9パーセント上回り、カンザス州 (2015年60パーセント対2016年61パーセント) およびケンタッキー州 (2015年59パーセント対2016年71パーセント) も同様に上回ります。テキサス州は2015年の記録を14パーセント下回り、前年の発芽割合を大幅に下回る唯一の州と思われる。USDA作物進捗報告書は以下のサイトで閲覧できます。

www.nass.usda.gov/Publications/National_Crop_Progress

次頁に続く

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「GPS とオートステアです。土壌のサンプリングは行っていますが、土地の状況によって作付や施肥を変化させる可変作業はまだ採用していません。この農場は以前は川底で、1926年に堤防（洪水を防ぐための構造物）が作られてから耕作地にしたところなので、ここの土壌は肥沃でほぼ平坦なのです」

今年は典型的な作付シーズンになっていますか？

「今年は4月の終わりまでに完了しました。我々としては早い方です。去年は極端な少雨でした。今年は年明けから雨がよく降りましたが4月はほとんど降らなかったのので、圃場に出て作付することができました」

作付にはどのような種類の装置を使用していますか？

「ジョンディア製不耕起向けエアドリルです。我々の土地はすべて不耕起またはミニマム耕起のいずれかです」

作付決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「輪作と事業収支の予測です。何から収益を得ることができるか。食品用大麦については有利な契約を結んでおり、飼料用大麦は地元の小規模肥育場に出荷します。投入コストで何を栽培するかが決まるのです」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「環境に配慮した方法で安全な作物を生産するために最善を尽くしています。必要量を超えた農薬を使用することはありません。競争力を維持し、生計をたて、土地を守るための取り組みを続けています」

ノースダコタ州 ドイル・レンツ氏

ドイル・レンツ氏は妻と3人の娘、そして2人の従業員とともに7,000エーカー（約2,800ヘクタール）の土地で農業に従事しています。ノースダコタ州のその農場では、大麦の契約栽培を行っています。彼らはこの土地で118年間農業を続け、大麦、小麦そしてときに大豆と豆類を栽培してきました

1年のどの時期に作付しますか？

「大麦の作付には5月初頭から6月までの約6週間をあてています」

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「農地のマッピング、可変作業技術、農地を細分してそれぞれの区分に適した作業を行うためのセクションコントロールと、あらゆるものを使用しています。ジョンディア製品が役立つならそれを手に入れます」

今年は典型的な作付シーズンになっていますか？

「はい。物価のせいでコストのことをかなり意識するようになってきましたけれどね」



ノースダコタ州にあるドイル・レンツ氏の農場で使われている作付装置

作付決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「厳密な輪作を続け、トウモロコシと大麦の組み合わせ、あるいは大麦と大麦の組み合わせを避けています」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「米国は、考えられる限りの世界最高品質のものを提供する努力をしています。我々の仕事は皆さんが求めているものを提供することです」

次頁に続く

トウモロコシ ウィスコンシン州 ケン・ローズナウ氏

ウィスコンシン州にあるケン・ローズナウ氏は、妻と息子とともに農場を家族経営しています。1,100エーカー（約450ヘクタール）の農場でトウモロコシ、大豆、大麦、牧草を栽培し、肉牛も飼育しています。

1年のどの時期に作付しますか？

「4月末から始め、5月までかかります。土壌が十分に暖かくなるとすぐに始めます」

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「アワノメイガやネキリムシ害虫抵抗性とラウンドアップ除草剤耐性トウモロコシ品種の種子を用いています。トラクターには作付や施肥のためのGPS装置を付けています」

作付の決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「コストを抑制し続けることができるよう、私の農地では被害の少ないネキリムシへの抵抗性を組み込んだ種子を控え目にするつもりです。これは予算を削減できる領域のひとつです」

今年の生育期間をこれまでと違ったものにする計画はありますか？

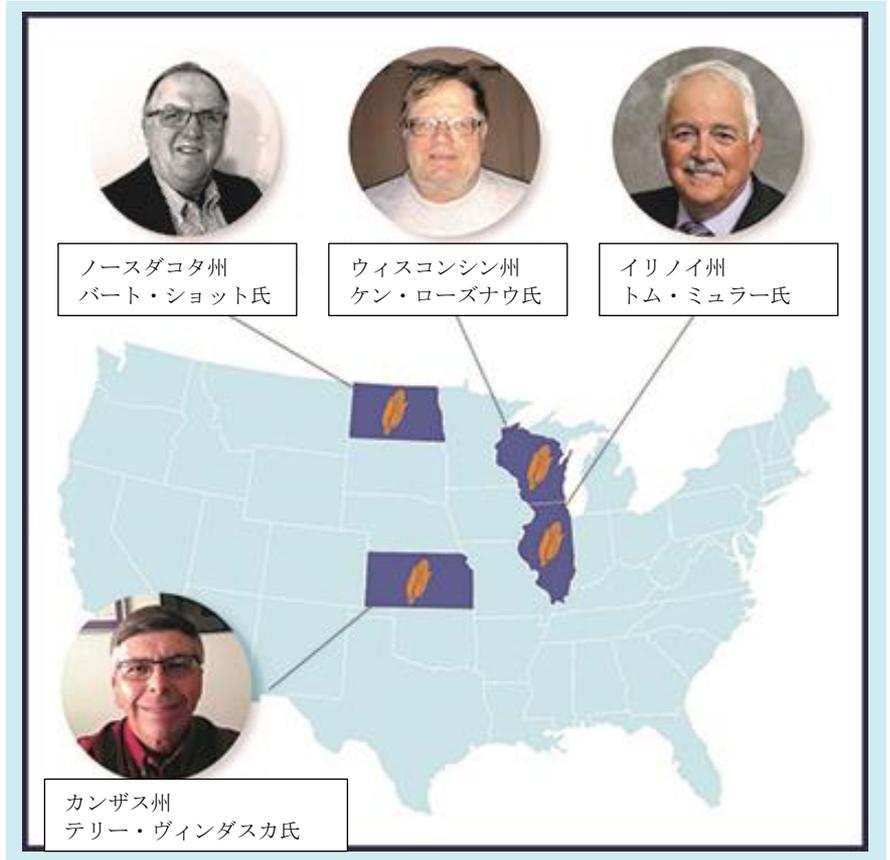
「もっとトウモロコシの連作を増やすつもりです（前シーズンからの圃場）。今年は借地の一部が、我々より強気の見通しをするほかの借地人に貸し出されてしまいましたので、バランスを取るために栽培面積の調整を行いました」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「我々にとって輸出の影響は大です。ここウィスコンシンには畜産や酪農、エタノールの良好な市場がありますが、それでも価格に影響を及ぼし、最後にものを言うのは輸出なのです」

他に伝えておきたいこと

「我々はみな一丸となって働かなければなりません。この農場の6代目が農業を順調に続けるためには、輸出はますます重要になっていくでしょう」



ウィスコンシン州にあるケン・ローズナウ氏のトウモロコシ農場で使用されている播種機

次頁に続く

イリノイ州 トム・ミュラー氏

トム・ミュラー氏はイリノイ州の四都市群（イリノイ州北西部とアイオワ州南東部からなる地域）の南西でトウモロコシと大豆を栽培し、肉牛を飼育しています。ミュラー氏は1人で農場を経営し、夏場には臨時作業者を雇い入れています。ミュラー氏は祖父が暮らした農場内の家で育ちました。

1年のどの時期に作付しますか？

「今年は私の記憶にある限り最も早い作付でした。4月18日から始め、雨で中断し、また再開して4月26日に完了しました」

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「土壌試験と施肥にGPSとグリッドマッピングを使っています。必要な時に必要なものだけを使用しています」

今年は典型的な作付シーズンになっていますか？

「はい。土壌の状態が良かったので作付はスムーズに運びました」

作付にはどのような種類の装置を使用していますか？

「12-列ジョンディア製播種機です（私のところはジョンディア社の国際本部からわずか数マイルしか離れていません）。無耕起農地用の溝あけ機が搭載された特殊な土壌保全装置です」

作付の決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「いつも価格のことが頭を離れません」

今年の生育期間をこれまでと違ったものにする計画はありますか？

「トウモロコシを少し減らし、大豆を増やし、それに乳牛用の干し草にするオーツ麦とアルファルファを加えます」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「高品質の作物を生産するためにあらゆる努力を尽くしています。作物がダメージを受けないよう適切に収穫し、出荷しています」

他に伝えておきたいこと

「我々はアメリカ穀物協会の事業を評価していますし、市場拡大に期待を寄せています」

ノースダコタ州 パート・ショット氏

パート・ショット氏はノースダコタ州にある農場の3代目です。彼の息子は4代目で、種子事業も共同所有・経営しています。

1年のどの時期に作付しますか？

「我々の場合はトウモロコシの作付は5月1日あたりに開始し、天候が味方してくれれば5月中旬あたりに完了します」

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「息子がテクノロジーに強い関心をもっていて、作付や施肥作業にはすべてマッピングやゾーニングを使用しています。我々が使っている装置は土壌にあわせて区域ごとに施肥調整してくれます。持続可能で低コストの農業を続けるのに役立っています」



不耕起または無耕起農地の前期作物の刈り株の間から発芽したトウモロコシ
写真提供：全米トウモロコシ生産者協会

[次頁に続く](#)

今年は典型的な作付シーズンになっていますか？

「上り坂で何とか岩を押し上げているようなものですが、これがノースダコタの農業です」

作付にはどのような種類の装置を使用していますか？

「24列ジョンディア製播種機を使って作付しています。圃場一つ分の大きさは平均で300エーカー（約120ヘクタール）ですから、フェンスや並木によって使用することのできる装置が制限されるのです」

作付の決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「投入費用を抑えようとすれば様々な管理運営をしなければなりません、見返り以上のお金を使うことはできません。自分たちにできることをきちんと把握し、そして最善を祈ることです」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「海外の顧客が求めているどのような作物についても我々は信頼のおける供給者であるということです」

カンザス州 テリー・ヴィンダスカ氏

カンザス州の中央部にあるテリー・ヴィンダスカ氏の農場は、彼の義理の息子と家族とともに有限会社として設立されました。トウモロコシや大豆、小麦、ソルガムを栽培しています。

1年のどの時期に作付しますか？

「3月の終わりに開始し、4月20日頃完了します。高温と少雨への耐性がある品種もそうですが、早く成熟するものがこの気候に合っています」

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「作付、農薬散布そして収穫を最大限有効に行うために、GPSを使用しています。収量マッピングを作付に組み入れています。テクノロジーは少ない人手でより多く生産するのに役立ちます。より良い作物を以前よりも高い効率で育てています。これは道具であって贅沢品ではありません」

今年も典型的な作付シーズンになっていますか？

「例年に比べ雨が非常に少ない状態が続いています。開始から終了まで一切雨は降りませんでした。このような年は思い出せる限り数えるほどしかありません」

作付にはどのような種類の装置を使用していますか？

「16列ジョンディア製播種機を使用しています。この小さな町に今でも2件も装置ディーラーがあるのですから、我々は恵まれています。ディーラーの統合が続いていますから、今のような便利なサービスをこの先どれほど長く受けられるかは分かりませんが」

作付の決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「昨今の経済環境下では、平均単収を上回る可能性が最も高い作物に目を向けています。乾燥地にある農場ですから、何を作付するかは限られた雨水の活用、雑草圧力に対する抵抗性そして輪作といった要素に左右されます」

今年の生育期間をこれまでと違ったものにする計画はありますか？

「トウモロコシの面積は増加、小麦とソルガムの面積は減少。冬小麦については早い収穫を予想しています。ですから、例年以上に裏で二毛作が可能になるでしょう」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「我々は高品質の穀物と併産物の信頼のおける供給業者です。安全で品質の優れた作物を生産するために常に最善を尽くします」



テリー・ヴィンダスカ氏のカンザス農場では昨秋に溝切り耕起した大豆残滓の残る圃場でトウモロコシが作付される。

次頁に続く

他に伝えておきたいこと

「米国では生産者は土地や空気、水の良き管理者であるべく努力しています。化学物質や肥料を効率的に使い、つまり我々が手に入れた時よりも良い状態で次の世代に土地を引き渡そうとしているのです。それができれば成功です」

ソルガム

テキサス州 キャシー・ブローマン氏

テキサス州パンハンドルにあるキャシー・ブローマン氏の農場は 13 の区画（8,320 エーカー、約 3,370 ヘクタール）に及びます。家族で保険代理店も所有・経営しています。ブローマン氏の 4 人の娘も農場経営に参加しています。乾地ソルガム、通常のグレインソルガムそしてソルガムサイレージを少量の小麦とともに生産しています。

1年どのの時期に作付しますか？

「粗飼料用のソルガムの作付は5月1日から開始します。このソルガムは乳牛と肉牛の肥育場に出荷することになります。6月の終わりまでにグレインソルガムを作付します。このソルガムは地元の穀物エレベーターを経由して飼料市場とエタノール市場へと出荷します。最後が乾地ソルガムです。これは質の良いカバークroppになり、我々の不耕起農法とも相性がいいのです」

今年は典型的な作付シーズンになっていますか？

「一般的にはそう言えます。雨を待っている状態です」

作付の決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「市場、リスク管理そして作物保険の締め切り日が影響してきます」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「我々の農場は家族経営であり、土地の管理者であることに誇りを持っています。最新のテクノロジーや保全技術を用いるのは単に今現在のためというわけではなく、次の世代のために農地を改良したいからなのです」

メリーランド州 ハリソン・リグドン氏

ハリソン・リグドン氏は 1728 年に英国王ジョージ二世から払い下げられた土地を耕作する 11 代目の農家です。このメリーランド州にある農場では約 2,000 エーカー（約 800 ヘクタール）分のトウモロコシや大豆、小麦、大麦、ソルガム、牧草等農作物を栽培し、100 頭のアンガス種の雌牛も飼育しています。

1年どのの時期に作付しますか？

「4月の最終週あたりに開始するトウモロコシに始まり5月末のソルガムで終わります」



圃場全域にわたって、一度通過する間に畝を立て、畝から作物残滓を除去し、種を播き、土をかける作業を行うこの不耕起すなわち無耕起用播種機によって、土壌侵食が最小限に抑えられ、農作業効率が高まる。

写真提供：全米ソルガム・チェックオフ・プログラム

次頁に続く

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「収穫管理と自動追跡の付いたジョンディア製グリーンスターです」

今年は典型的な作付シーズンになっていますか？

「例年よりも寒いですね」

作付にはどのような種類の装置を使用していますか？

「ジョンディア製 1770NT CCS 播種機、ジョンディア製 1780 播種機とジョンディア製 1590 ドリルです。我々の農地のほぼ 90 パーセントが不耕起です」

作付の決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「天候と物価です。鹿はトウモロコシのほうがソルガムより好きなので、鹿の被害を受けやすい区域ではソルガムを作付しています」

今年の生育期間をこれまでと違ったものにする計画はありますか？

「今年は土壌温度が上がるのを待っているので遅れています」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「養分を維持するため、栽培期間以外の時期に土壌を覆うカバー作物を栽培し、土壌の健全性に細心の注意を払っています。すべては土壌で始まります」

他に伝えておきたいこと

「所有する農地のために最善を尽くすべく努力をしています」

アラバマ州 カールトン・ブリッジフォース氏

カールトン・ブリッジフォース氏はアラバマ州にある 10,000 エーカー（4,049 ヘクタール）の農地を父、叔父、兄弟そして従弟とともに耕作しています。栽培しているのは綿や小麦、トウモロコシ、大豆、ソルガムです。ブリッジフォース氏はアラバマ州の農家の 5 代目になります。

1年のどの時期に作付しますか？

「十分に暖かくなっている場合には 4 月上旬です」



メリーランド州にあるハリソン・リグドン氏の農場で使用されているテクノロジー



ハリソン・リグドン氏はメリーランド州のトウモロコシ・ソルガム農場で農作物を栽培する 11 代目

次頁に続く

作付にはどのようなテクノロジーを用いていますか？

「我々はテクノロジーのゆるぎない信奉者です。遺伝子操作や機器類から最新式の経理・在庫管理システムに至るまで、まず取り入れてみて上手くいくかどうかを見ます。これこそ農業が目指すべき方向性です」

今年は典型的な作付シーズンになっていますか？

「望みうる限り完璧に近い状態です。7日から10日の間猛烈に頑張っ、ちょうど大雨が来る前に完了しました」

作付にはどのような種類の装置を使用していますか？

「トウモロコシに使っているのと同じジョンディア製播種機をソルガムにも使っています」

作付の決定に影響を及ぼすのはどのような要素でしょうか？

「輪作と肥料、種子、農薬などの農業資材投入コストです」

あなたの仕事について特に海外の顧客に知ってもらいたいことは何ですか？

「農作物を育てているのは企業ではありません。それを育てて企業に販売しているのは農家です。もっと多くの人（海外のバイヤーとともに）訪れてくれると嬉しいです。そうすれば差し向かいで話をし、どのような状況をお互いに理解することができますから」■

2016年米国トウモロコシの出芽 – Facebook ページをフォローしてください

カンザス州で、オハイオ州であるいは米国内のほかの地域でトウモロコシがどのようになっているか興味ありませんか？

「2016年米国トウモロコシの栽培」と名付けたアメリカ穀物協会（USGC）のFacebookページでは、全米各地の生産者から寄せられた写真、動画、最新情報を見ることができます。

様々な情報を展開しているこのページには、天気情報、農作物の最新の成長状況や国内の様々な地域のトウモロコシ生産者から寄せられた短信が掲載されています。5月初めにミズーリ州から送られてきた写真では、同州東部のトウモロコシが圃場で芽吹いています。

www.facebook.com/GrowCorn の Facebook ページをフォローして、トウモロコシ生産の最新情報を常に確認して置きましょう。■



この圃場ではカバークロップ、すなわち裏作の作物が栽培されている。カバークロップは養分維持に役立ち、土壌の健全性に寄与する。

写真提供：USDA.



「2016年米国トウモロコシの栽培」のFacebookページから抜粋したオハイオ州のトウモロコシ作付作業の写真の数々